

実施要領 様式11(第13条関係)
 【認知症対応型共同生活介護用】

評価結果公表票

作成日 平成20年6月13日

【評価実施概要】

| | |
|-------|----------------------------------|
| 事業所番号 | 270301633 |
| 法人名 | 医療法人尚志会 |
| 事業所名 | グループホーム妙水苑 |
| 所在地 | 八戸市大字妙字分枝43 (電話) 0178-30-2778 |
| 評価機関名 | 社会福祉法人青森県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 青森市中央三丁目20-30 県民福祉プラザ2階 |
| 訪問調査日 | 平成20年1月10日 |

【情報提供票より】(平成19年12月1日事業所記入)

(1)組織概要

| | | | |
|-------|------------|--------|------------------------|
| 開設年月日 | 平成16年1月16日 | | |
| ユニット数 | 3 ユニット | 利用定員数計 | 27 人 |
| 職員数 | 24 人 | 常勤 | 21人, 非常勤 3人, 常勤換算 7.4人 |

(2)建物概要

| | | |
|------|-------|--------|
| 建物構造 | 鉄骨 | 造り |
| | 2階建ての | 1～2階部分 |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|----------------|---|
| 家賃(平均月額) | 45,000円から60,000円 | その他の経費(月額) | 光熱水費6,000円ほか 円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | | 1,000 | 円 |

(4)利用者の概要(12月1日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 27名 | 男性 | 6名 | 女性 | 21名 |
| 要介護1 | 6名 | 要介護2 | 3名 | | |
| 要介護3 | 11名 | 要介護4 | 7名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 83歳 | 最低 | 66歳 | 最高 | 97歳 |

(5)協力医療機関

| | |
|---------|--------|
| 協力医療機関名 | シルバー病院 |
|---------|--------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「私達は個性を重視した心地よい生活環境を提供し、利用者の安心と尊厳を支えます」という理念を掲げており、全職員が常に理念を意識しながら日々のケアを提供するよう努めている。

法人母体が医療機関であるため、緊急時には迅速に対応できるほか、訪問看護ステーションとの契約により24時間の支援体制が整えられている。また、法人内の他施設との交換研修を実施したり、地域福祉権利擁護事業や感染症等に関する勉強会を実施して職員の資質向上に努めており、法人内に複数の施設があることのメリットが活かされている。

献立は栄養士が作成しているため、栄養バランスやカロリー等に配慮されている。また、利用者と職員と一緒に食事の準備や後片付けを行ったり、職員も一緒に食事を摂る等、食事を楽しめるような工夫が行われている。

【特に改善が求められる点】

開設当初からの理念を掲げているが、全職員で地域密着型サービスの役割等について話し合い、現在の理念に盛り込んでいくことに期待したい。

虐待のないケアを実践しているが、虐待を発見した場合の対応や報告の流れ等に関する取り決めを作成し、全職員に周知してはどうか。

利用者や家族の希望等を取り入れた介護計画を作成し、適宜見直しを行っているが、見直しを行う際には利用者及び家族の意向や職員の気づき等について再アセスメントを行うことに期待したい。

災害時に備えて飲料水は用意しているが、数日分の食料や寒さをしのげる物品等も用意してはどうか。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価結果を基に改善計画書を作成しており、誰の目にも付きやすい場所に大きな文字で書かれた理念を掲示したり、利用者の定期健診を勧める等、より良いホームづくりに向けた具体的な取組みが行われている。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義や活用方法等を全職員に周知しており、自己評価はユニット毎に職員の意見を持ちより、それを管理者が完成させている。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>町内会長や民生委員、市担当課、利用者及び家族の代表、ユニット管理者、職員が運営推進会議の委員となっており、自己・外部評価の結果を報告したり、災害時の協力体制を整備したり、法人主催の行事時に協力等が得られるような働きかけも行っている。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>ホーム便り等を通じて日々の暮らしぶりなどを家族に報告するほか、面会時や行事開催時には家族とのコミュニケーションを図ったり、運営推進会議に家族の代表に参加してもらう等、意見や要望を聞きだすよう努めている。また、ホーム内外の苦情受付窓口を重要事項説明書に明示したり、玄関に意見箱を設置する等の取組みも行われており、家族からの意見は今後のケアサービスに活かしている。</p> |
| 重点項目③ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>行事の時にはポスター等を通じて住民に参加を呼びかけたり、年末にはカレンダーを配りながらホームへの理解を呼びかける等の取組みが行われている。また、近所の主婦が草取りやお菓子作り、話し相手として定期的に訪問したり、地域の保育園児の訪問や高校生ボランティアの訪問等も受け入れており、地域に開かれたホーム作りが行われている。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>行事の時にはポスター等を通じて住民に参加を呼びかけたり、年末にはカレンダーを配りながらホームへの理解を呼びかける等の取組みが行われている。また、近所の主婦が草取りやお菓子作り、話し相手として定期的に訪問したり、地域の保育園児の訪問や高校生ボランティアの訪問等も受け入れており、地域に開かれたホーム作りが行われている。</p> |

【各領域の取組状況】

| 領域 | 取組み状況 |
|---------------------------------|--|
| I 理念に基づく運営 | <p>理念をホーム内に掲示したり、カンファレンス等で職員間での共有を図っており、全職員が理念を意識しながら日々のケアを提供している。</p> <p>法人として地域との触れ合いを大切にした取組みが行われているほか、運営推進会議を通じて地域住民との関わりが広がる等の成果が見られている。</p> <p>年間の研修計画を作成しており、それを基に全職員が内部・外部研修に参加したり、法人内の他グループホームや地区のグループホーム協会との関わりを持つ等、職員及びホーム全体の質の向上に努めている。</p> |
| II 安心と信頼に向けた関係作りと支援 | <p>一人ひとりを取り巻く環境や事情等を把握できるよう、利用者や家族との話し合いを行っている。安心した暮らしをホームで送れるよう、個々の意向や思いを共有するよう努めている。</p> <p>利用者と共に過ごすことを通じて一人ひとりの気持ちを理解するよう努めている。また、個々の生活歴等から得意なことなどを把握しており、利用者に野菜作りを教えてもらう等、助け合いながら生活している。</p> |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | <p>法人内の医療機関や訪問看護ステーションとの医療連携体制を整えるほか、かかりつけ医への受診介助や行事での外出等、利用者や家族の要望に応じた柔軟なケアを提供するよう努めている。</p> <p>利用者との関わりや家族からの情報等を通して一人ひとりの思いなどを把握するほか、職員間での意見交換を行って、個別具体的な介護計画を作成している。また、3ヶ月ごと、あるいは状態変化時等は計画の見直しを行っている。</p> |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | <p>利用者が生き生きと生活できるよう、野菜作りや生け花等の得意なことは役割や楽しみごととして手伝ってもらったり、日課の散歩を楽しんでもらう等の取組みが行われている。</p> <p>年2回以上、消防署の協力を得て昼夜を想定した避難訓練を行うほか、ユニットごとの訓練も定期的に行われている。また、災害時に地域からの協力体制も整えている。</p> <p>職員は身体拘束の内容や弊害について理解しており、拘束のないケアに努めている。また、やむを得ず拘束を行わなければならない場合は、家族の同意を得たり、理由等を記録する仕組みとなっている。</p> |

評 価 報 告 書

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|----------|---|---|--------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域密着型サービスへの制度改正に伴い、意義と役割等について理解を深めている。開設当初からの理念を掲げているが、地域密着型サービスの役割等が反映されておらず、今後全職員で検討する予定となっている。 | ○ | 理念の検討を行う際には、ホームを取り巻く環境や立地条件、母体法人との連携等を考慮した上で、地域に密着した暮らしを支える支援とは何かを多方面から検討し、それを理念に盛り込んでいくことに期待したい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念をホールや職員詰め所等の常に目に付くところに掲示するほか、毎月の家族への便利にも明示している。また、会議やカンファレンス、ミーティング等を通じて共有を深めており、全職員がいつでも理念を意識しながら日々のケアを提供できるよう取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 4 | ○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。 | 近所の主婦が定期的にボランティアとして訪問しており、草取りやお菓子作り等の交流が図られている。また、保育園児の訪問や高校生ボランティア等も受け入れており、受け入れ時には利用者のプライバシーに配慮した対応を行っている。母体法人の春まつりや夏まつりには作品を展示する等の取り組みも行っており、将来的には認知症相談コーナーの設置や勉強会開催へと発展させたいと意欲的である。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|--------------------------|--|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 5 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価の意義や活用方法等を全職員に周知しており、自己評価はユニット毎に職員の意見を持ち寄り、それを管理者がまとめて完成させている。また、外部評価の結果を受けて改善計画書を作成し、それを基に具体的に実践する等、より良いホーム作りに向けた取り組みを行っている。 | | |
| 5 | 6 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | クリスマス会等の行事の際には委員に参加してもらっており、親交を深めるとともに、地域との関わりを深めるための協力を依頼している。また、会議では自己評価や外部評価の結果を報告し、改善策等について意見交換を行っており、地域の自衛消防団との連携を図るきっかけを得るなどの取り組みにつながっている。 | | |
| 6 | 7 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 運営推進会議に行政職員が参画しており、会議を通じて広報紙を配布したり、自己・外部評価や改善計画等を報告している。また、市主催の集団指導研修会に管理者が参加して担当課職員とのコミュニケーションを図っており、ホーム運営等に関する相談をするなどの関係が築かれている。 | | |
| 7 | 8 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 法人が開催している地域福祉権利擁護事業等に関する研修会に全職員が参加しており、制度の概要について理解を深めている。現在、制度を利用している方はいないが、必要に応じていつでも利用に向けた支援を行う体制となっている。 | | |
| 8 | 9 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部研修への参加や、その後の伝達講習の実施により、全職員が虐待について理解を深め、虐待のないケアを提供するよう取り組んでいる。管理者やユニット長は、職員のケア提供場面を観察するなど、虐待の防止に努めているが、虐待を発見した場合の対応や報告の流れ等に関する取り決めは作成されていない。 | ○ | 虐待を発見した場合の具体的な対応方法や報告の流れ等に関する取り決めを作成し、それを全職員に周知することに期待したい。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|--------------------------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 9 | 10 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時や契約改訂時は、利用者や家族の意向や疑問に耳を傾けるとともに、安心してもらえるような説明を行うよう心がけている。また、退居時にも利用者や家族に理由等を説明して納得してもらうほか、必要に応じて退居先に関する情報提供等も行っている。 | | |
| 10 | 12 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 月1回のホーム便りや面会時等を通じて、近況報告や受診経過等を家族に報告している。また、職員の異動についてもホーム便りに掲載する方針が立てられている。金銭管理状況については出納簿に記録しており、領収書を同封して家族に報告している。 | | |
| 11 | 13 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時や行事開催時には家族とのコミュニケーションを図ったり、運営推進会議に家族の代表に参加してもらう等、意見や要望を聞きだすよう努めている。また、ホーム内外の苦情受付窓口を重要事項説明書に明示したり、玄関に意見箱を設置する等の取り組みも行われており、家族からの意見は今後のケアサービスに活かしている。 | | |
| 12 | 16 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 利用者への影響に配慮し、職員の異動については法人として配慮している。やむを得ず交替や新職員の配置がある場合は、利用者への十分な説明を行うとともに、引継ぎを行っている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|--------------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 13 | 17 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 平年の研修計画を作成しており、それに基づいて内部研修を実施したり、外部研修への積極的な職員派遣を行っている。研修等には全職員が平均的に参加できるよう配慮しており、全国や東北レベルでの研修にも職員が参加している。研修後は報告書を作成し、全職員を対象に伝達講習を行っている。職員の悩み等については管理者が、管理者の悩み等については法人内の総看護師長がスーパーバイザー的役割を担っている | | |
| 14 | 18 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 法人内のグループホームとの職員交換研修を実施するほか、地域のグループホーム連絡協議会に加盟して研修等に積極的に参加している。また、同業者との交流を通じて得られたことは日々の実践に活かすよう取り組んでいる。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 15 | 23 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 一人ひとりを取り巻く環境や事情等を把握できるよう、利用者や家族との話し合いを行っている。安心した暮らしをホームで送れるよう、個々の意向や思いを共有するよう努めている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 16 | 24 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者と共に過ごすことを通じて一人ひとりの気持ちを理解するよう努めている。また、個々の生活歴等から得意なことなどを把握しており、利用者に野菜作りを教えてもらう等、助け合いながら生活している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|--------------------------|---|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 17 | 30 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者との関わりや家族等からの情報、アセスメント等を通じて一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 18 | 33 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者及び家族の意向や希望を把握するほか、職員間での意見交換を行った上で、一人ひとりに応じた具体的な計画を作成している。 | | |
| 19 | 34 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 基本的に3ヶ月毎に見直しを行うほか、状況変化等があった時は随時見直しを行っている。しかし、見直し時に利用者の意向等に関する再アセスメントを行う機会は設けられていない。 | ○ | 見直しを行う際には利用者や家族、職員、関係者等の意向や気づきなどについて再アセスメントを行うことに期待したい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 20 | 36 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 法人内の医療機関や訪問看護ステーションとの医療連携体制を整えており、24時間体制でいつでも対応してもらえる仕組みとなっている。また、かかりつけ医への受診介助や、行事での外出等、利用者や家族の要望に応じた柔軟な支援を心がけている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|--------------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 21 | 40 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | これまでの受診状況を把握しており、かかりつけ医での受診を継続できるよう支援している。また、法人内の医療機関や訪問看護ステーションの協力がいつでも得られる体制が整えられている。受診結果は毎月家族に報告し、共有が図られている。 | | |
| 22 | 44 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期のケアには対応していないが、日々の健康管理や緊急時の対応については利用者や家族との意思統一が図られており、個々の状態に応じた対応を行っている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 23 | 47 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 一人ひとりに合わせた声がけや介助を行い、丁寧な対応を心がけている。また、職員は研修等を通じて個人情報保護法について理解を深めており、個人記録は訪問者の目につかない場所に置く等、保管場所に留意している。 | | |
| 24 | 49 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員は、利用者一人ひとりのペースに合わせて見守り等を行うほか、その日の心身の状態に合わせたケアを提供するよう努めている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|--------------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 25 | 51 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | ホームで提供する食事のほか、家族の協力を得て好みの食品を用意してもらう等の取り組みを行っている。食事の準備や後片付けは利用者と職員が行ったり、職員も利用者と同じテーブルに座って同じ食事を摂る等、細やかなサポートを行いながらも食事を楽しめるよう配慮している。 | | |
| 26 | 54 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 週2回の入浴となっており、順番等の希望にはできる限り対応している。また、入浴を拒否する利用者には声かけを工夫する等、無理強いしないよう入浴を促している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 27 | 56 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの生活歴や得意なことを把握しており、畑作りや生け花等の場面では、職員が利用者から教わりながら行っている。また、日課の散歩を楽しむ等、利用者が生き生きと過ごせるよう支援している。 | | |
| 28 | 58 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩や受診時を活用した外出等、利用者の希望に合わせた外出支援を行っている。また、近くの景勝地に出かけたり、行事として外出する機会を設ける等の取り組みも行われている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|--|--------------------------|--|
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 29 | 62 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 内部・外部研修を通じて身体拘束の内容や弊害について理解を深めており、拘束のないケアに努めている。また、やむを得ず拘束を行う場合は、理由や期間等を記録に残すとともに、家族の同意を得る等の体制となっている。 | | |
| 30 | 63 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は玄関を施錠しておらず、外出傾向を察知できるよう職員は見守りを行っている。やむを得ず施錠する場合は家族に説明して同意を得ることとなっている。また、無断外出時に地域からの協力が得られるよう、年1回町内にカレンダーを配りながら理解を求める呼びかけを行う等の取り組みが行われている。 | | |
| 31 | 68 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回以上、消防署の指導を受けながら昼夜を想定した避難訓練を実施するほか、ユニット毎の訓練も行われている。また、災害時には消防署等からの協力が得られる体制となっている。備蓄品として飲料水を用意しているが、食料や寒さをしのげる物品等は用意されていない。 | ○ | 災害時に備え、数日分の食料や寒さをしのげる物品、簡易トイレ等を用意していくことに期待したい。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 32 | 74 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養士の指導のもと、1日約1,600kcalの献立が作成されている。また、食事や水分の摂取量は利用者ごとに継続して記録している。 | | |
| 33 | 75 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症対応マニュアルが整備されており、適宜見直しも行われている。また、法人の委員会を通じて勉強会が開催されており、感染症に関する知識を深めている。保健所等との関わりを通じて最新情報の収集に努めており、インフルエンザ等の流行時にはホーム内に掲示をして、利用者や家族に周知する等の取り組みも行われている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|--|--------------------------|----------------------------------|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 34 | 78 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 廊下等の共用空間にはイスやソファ等が置かれているほか、ウッドデッキが設置されている。また、食卓には季節の花が飾られており、季節感のある家庭的な雰囲気となっている。テレビ等の音量や照明の強さなども適切であり、快適な空間作りが行われている。 | | |
| 35 | 80 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家族の協力を得ながら、位牌や仏壇、家族の写真等の馴染みの物が持ち込まれており、居心地が良く、過ごしやすい居室となっている。 | | |

※ は、重点項目。